

第5次亀岡市総合計画（中間案）の概要について

都
市
指
像

『人と時代に選ばれる リーディングシティ亀岡』

- ・SDGsの理念のもとに「SDGs未来都市」として、特色ある豊かな資源を生かし、持続可能な環境・経済・社会を創造するための先駆的な取組みを進める。
- ・あらゆる分野のまちづくりで時代をリードする新たな取組に挑戦しながら、成果をまちの魅力に還元し、全国・世界に発信することで、市民とともに輝かしい未来を切り拓く。

の
ま
ち
重
点
づ
く
り
マ
リ

子育てしたい、住み続けたいまちへ

スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ

世界に誇れる環境先進都市へ

だれもが安心して暮らせるセーフコミュニティ、多文化共生のまちへ
次代をリードする新産業を創出するまちへ

テ
環
境
に
関
す
る
考
え
重
点
方
点

平成24(2012)年に内陸部の自治体では初めてとなる「海ごみサミット」を開催、平成30(2018)年12月には「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発出、保津川をはじめとする自然景観や市民の生活環境、観光、多様な川の生態系を保全するとともに地球規模の海洋プラスチック汚染問題の解決を目指す。

「世界に誇れる環境先進都市」の実現に向けて、プラスチックごみ・廃棄物を出さない循環型社会やエネルギーの地産地消などによる脱炭素社会の実現、生物多様性の保全、自然と共生するエコ農業の普及など、地域資源を活用した持続可能なまちづくりに取り組む。

環境施策の基本方針

美しく豊かな水と緑に恵まれ、アユモドキを始めとする多様な生態系を有する本市の自然環境を守るため、海洋汚染や地球温暖化など地球規模の環境問題を身近なものとして捉え、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指す取組をきっかけとして、地域資源を活用した地産地消や低炭素のまちづくりを推進します。

併せて、ごみの減量や再資源化などをみんなで考え取り組む、持続可能な循環型のまちづくりを目指します。

さらに、暮らしの豊かさや快適性を創造するため、誰もが憩い、集える公園・緑地づくりを目指します。

地球にやさしい環境先進都市づくり

地球環境・省エネルギー

資源循環・廃棄物処理

自然環境

公園・緑地